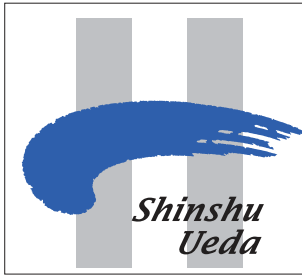


独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター



発行：令和4年4月 発行人：院長 藤森 実

信州上田医療センターの理念

私たちは目指します

- 1)互いに信頼し尊重しあえる関係
- 2)安全で質の高い医療
- 3)情報を共有して納得のできる医療
- 4)地域と連携して安心できる医療
- 5)医療の将来を見すえた健全な経営

【患者さんの権利】

- 1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重される権利があります。
- 2. 良質かつ適切な医療を平等に受ける権利があります。
- 3. 病気・検査・治療・見通しなどについて、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。また、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
- 4. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。そのために担当医以外の医師を考へ（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
- 5. 医療の過程で医療者が知り得た個人情報を守られ、入院中も可能な限り私的な生活が乱されない権利があります。

施設認定

- 地域災害拠点病院(1997.1)
- エイズ治療拠点病院(1997.7)
- 地域周産期医療センター(2000.9)
- 地域医療支援病院(2002.11)
- 災害派遣医療チーム(2008.9)
- 第2種感染症指定医療機関(2009.11)
- 地域医療教育センター(2011.4)
- 臨床研修病院 基幹型(2012.4)
- 地域がん診療病院(2016.4)
- 地域医療人材拠点病院(2019.4)

通院治療センターの改修について

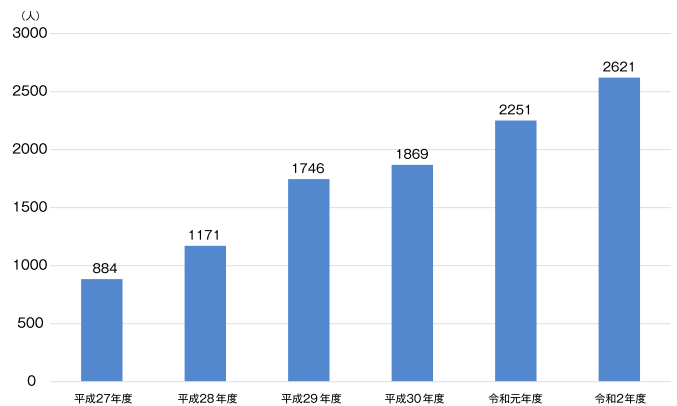
通院治療センター長 吾妻俊彦

当院は厚生労働省から「地域がん診療病院」に指定されており、がんを患った方々にそれぞれの状況に応じた最適ながん診療を提供しています。がん治療にはおもに、手術、放射線治療、薬物療法、緩和治療がありますが、薬物療法（抗がん薬治療）では毎年新たな薬が登場しており、がん治療向上の大きな要因となっています。

通院治療センターは外来2階の中央処置室となり、外来患者さんの抗がん薬点滴治療を行っています(外来化学療法)。がん診療の専門資格を持った医師・看護師・薬剤師を含む専任スタッフが、抗がん薬などの点滴の管理や患者さんの健康状態の観察を行い、安心・安全ながん治療を提供しています。また、治療の副作用によって生じる苦痛や日常生活などに関する相談も受けています。

2011年に開設した通院治療センターですが、当センターで治療を受ける患者さんの数は年々増加しており、治療件数は最近5年間でおよそ3倍に増加しています(図1)。一方、これまで7つのベッドで治療を行ってきましたが、治療件数の増加に伴い、患者さんを長時間お待たせ

図1. 通院治療センター治療件数



してしまう場面などが多くなってしまいました。そうしたことから、昨年12月に通院治療センター改修工事が始まりました。この工事により当センターが拡張され、最大15ベッドを使用して点滴治療が行えるようになります。患者さんの負担も軽減すると期待されます。

改修工事期間中は、東4階病棟に仮設通院治療センターを設置して外来化学療法を継続しています。当初工事は3月末までに終了する予定でしたが、今般のコロナ禍が工事にも影響し、

新センターオープンまで今しばらく時間を要する状況となっています。患者さんや御家族の方々にはご不便をおかけしておりますが、今しばらくご協力をお願い致します。また、外来2階の工事箇所においては騒音、振動やにおいなどで多くの皆様にご迷惑をおかけしており、お

詫び申し上げます。何卒ご理解いただけますと幸いです。

通院治療センターでは、安心・安全・快適にがん治療を受けていただけるような環境を提供し、患者さんが順調に薬物療法を行っていただけるように今後も取り組んでまいります。

特集

通院治療センター改修工事の進捗状況について

企画課長 渡辺 清孝

当院の通院治療センターは、平成26年7月に開設以降、平成28年4月に地域がん診療病院の指定を受け、年々薬物療法を必要とする患者さんが増加傾向であり、既存7床（リクライニングチェア4台、ベッド3台）で運用していた設備規模の想定を越えてしまったため、現在、15床（リクライニングチェア13台、ベッド2台）に拡張する工事を令和3年11月19日から行っております。

なお、工事着工に伴い11月24日からは仮設通院治療センターを東4階病棟北側（旧HCU病床）に10床にて開設しております。ご利用者の皆様方にはご不便をお掛けしておりますことこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

また、今回整備では、通院治療センター内にクリーンルーム（安全キャビネットを設置した抗がん剤の調剤室）の新設を予定しており、センター利用者専用のトイレ（HWC）も1室で男

女共用であったことから、異性間に配慮し、2室（HWC、オストメイト付き）に増設予定でございます。

工事の進捗状況としては、全体で60%（令和4年3月6日現在）となっておりますが、電気設備の照明器具等の納品に関して、昨年から続く半導体需要の急拡大及び東南アジア諸国の新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響等に端を発し、部品調達が困難な状態が続いており、納期の見通しが立たない現状であり、竣工予定であった3月19日には間に合わず、工期延長も現在のところ見通しが立たない状態でございます。

しかしながら、引き続き、施工可能な範囲での工事は実施いたしますので、外来診療等ご来院される皆様には、振動、騒音等でご迷惑をおかけしており、誠に申し訳ございませんが、何卒、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

外来化学療法室外観状況



外来化学療法室内部状況



特集

眼科手術の開始について

眼科 星山 健



2022年5月より当院で白内障手術を開始します。

白内障は水晶体という目の中にあるレンズが濁ってしまう病気で、原因の多くは老化現象であるため、80歳までにすべての方が白内障になります。白内障になると目の奥にきれいな光を取り込むことが出来なくなるため、文字が読みづらい、だぶって見える、ぼやける、かすむ、まぶしい、視界が暗く感じるなど、視界に様々な不快な症状が現れます。

安全に白内障手術を受けることができる日本では、白内障に失明するというイメージはあまりないと思いますが、世界の失明原因の圧倒的トップは白内障です。放置しておくとう進行していく病気ですので、適切なタイミングで手術を受けて頂くことが、生涯良好な視力を維持するためには重要になります。

濁った水晶体を透明にする薬はないため、手術が白内障の唯一の根治療法になります。現在国内で広く行われている白内障手術は、超音波を使用し濁った水晶体を吸引した後に眼内レンズを挿入する方法で、手術に必要な傷が非常に小さく、10～20分程度の短時間で手術が完了するのが特徴です。目はとても小さな臓器なので、手術による傷口が小さいことで患者さんの負担や術後感染のリスクが軽減され、術後の視力も昔の術式より良い結果が得られるようになりました。

白内障以外にも緑内障や加齢黄斑変性など目には加齢と共に発症する病気が多くあります。白内障手術は認知症の発症リスクを抑えるという医学研究もありますが、人生100年と言われる時代に、健康に年を重ねて豊かな人生を送るためにも、目の健康を保つことは非常に大切です。

信州上田医療センターで眼科手術部門を立ち上げるプロジェクトは、1年以上の準備期間と多くの方のご尽力のお陰で、2022年5月の開始が実現することになりました。現在、手術の開始に並行して、眼科の外来診療枠の拡充、最新の眼科診療機材の導入などを進めており、今後より充実した医療を患者さんにご提供できることを目指しています。

地域医療を担う拠点病院として、少しでも患者さんのお役に立てるようにスタッフ一同頑張っています。今後も当院診療へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。